

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	山本 洸大
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	鈴木 繁浩

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	観光客の満足度向上による石川ファン の拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	D
施策2	観光振興を担う人材の育成・充実	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の 有効性	今後の 方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファン の拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	観光客全般	20,100	20,100	B	縮小
							2 いしかわの観光資源商品化促進事業	観光事業者、 旅行会社等	4,000	4,000	B	継続
							3 体験型観光素材開発支援事業	観光客全般	10,500	9,804	B	縮小
							4 個人旅行者向け旅行商品販売促進事 業	観光客全般	4,487	4,487	B	継続
							5 加賀百万石回遊ルート誘客推進事業	観光客全般	26,500	24,500	B	廃止
課題2	石川ファンの拡大を図るためのおもてなし の向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 観光客の声を活かすおもてなし向上事 業	観光客全般	1,800	1,800	B	見直し
							2 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、 一般県民	200	140	C	継続
課題3	石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業 資金貸付金	一般観光客	118,100	118,100	B	継続
課題4	広域連携による県域を越えた周遊観光 の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 加賀温泉旅館等誘客促進事業	観光客全般	18,000	1,723	B	継続
施策2	課題1 観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 次代を担う石川の観光人材育成事業	観光事業者、 一般県民	1,600	1,440	B	拡大

※人数については、暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作 組 織	観光企画課						
成 職・氏名	主幹 西川 史星						
者 電話番号	076	-	225	-	1542	内線	3924

●事業の背景・目的
 金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要
 ・金沢城・兼六園ライトアップ
 雰囲気異なる金沢城・兼六園の特長を活かしたイベントを実施(計65日間)

タイトル		開催日	開催時刻	備考
春の段 (11日間)		令和4年4月28日(木)～5月8日(日)	19:00～21:00	ライトアップ
初夏の段 (3日間)		令和4年6月3日(金)～5日(日)	19:00～21:00	ライトアップ
夏の段	(4日間)	令和4年7月1日(金)、2日(土)、8日(金)、9日(土)	19:30～21:30	ホテル観賞会
	(4日間)	令和4年8月11日(木・祝)～14日(日)	19:00～21:00	ライトアップ
秋の段 (28日間)		令和4年10月14日(金)～16日(日)、11月3日(木・祝)～27日(日)	18:30～21:00	ライトアップ
冬の段 (15日間)		令和5年1月21日(土)～23日(月)、26日(木)～28日(土)、2月3日(金)、4日(土)、10日(金)、11日(土)、17日(金)、18日(土)、23日(木・祝)～25日(土) ※1月24日(火)～25日(水)は大雪で中止	18:00～21:00	ライトアップ

※ライトアップでは、オーケストラ・アンサンブル金沢のBGMなどの演出も実施

●負担金交付先
 石川の四季観光キャンペーン実行委員会 (会長：石川県観光戦略推進部長)

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位：千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算	17,600	20,100	20,100	20,100	20,100
	決算	17,600	20,100	16,080	16,688	20,100
一般	予算	17,600	20,100	20,100	20,100	20,100
	決算	17,600	20,100	16,080	16,688	20,100
財源	決算	17,600	20,100	16,080	16,688	20,100
事業費累計	191,451	211,551	227,631	244,319	264,419	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、3年ぶりに大きな中止なく実施できた結果、約25万人の方々にご来園いただいた。(1日あたりの来場者数 R4:3,872人[R1比135%、R3比108%]) また、来園者へのアンケート調査によると、県外客の割合が全体の8割を超えたとともに、イベントの満足度についても約9割が「満足」「良い」と回答していることから、県外からの誘客と満足度の向上に寄与している。

今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	縮小	昨今の電力需要の逼迫や、カーボンニュートラル・SDGsの推進といった観点も踏まえ、効果的な日に限定し、来園者の多い土曜日および連休に実施する形で開催日を縮小しつつ、特別企画など内容に創意工夫をこらすことにより、夜の兼六園の四季折々の魅力を感じられる機会を提供し、引き続き来園者にご満足いただけるよう取り組む。
--	----	--

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの観光資源商品化促進事業	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課			
	職・氏名	主事 中本 佳奈子			
	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921			

事業の背景・目的
 北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげる取り組みを行ってきた。
 平成29年度からは、旅行商品の造成に精通した「旅行商品企画マネージャー」を石川県観光連盟に配置しており、引き続き、観光資源の更なるブラッシュアップと首都圏等の旅行会社へのプロモーションを一層強化する。

事業の概要
 旅行商品造成に精通した旅行商品企画マネージャー(大手旅行会社からの出向)を石川県観光連盟に配置し、市町等の取組を支援
 (業務内容)
 (1) 観光資源の更なるブラッシュアップによる新旅行商品の開発
 (2) 旅行会社へのプロモーション
 (3) 民間事業者が行う観光素材開発の支援・フォローアップ(公募)

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	評価	D			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位：千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	決算	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
一般	予算	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000
	決算	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000
事業費累計		7,400	11,400	15,400	19,400	23,400

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度の県全体の観光入込客数は、令和3年度比で148.3%、コロナ前の令和元年度比でも73.3%まで回復してきている。こうした中、旅行商品企画マネージャーによる県内全市町等への指導・助言や勉強会(1回・16人参加)の開催等を通じ、現地へのアクセス方法の確保や、コロナ禍で多様化する旅行ニーズを踏まえた観光素材の開発など、旅行会社へ提案する観光資源のブラッシュアップが図られた。(R4企画開発商品…温泉旅館に直接職人が出張する和菓子作り体験、伝統工芸等の歴史遺産を巡る「加賀立国1200年記念」周遊バスツアー等)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続きマネージャーを配置し、観光資源の更なるブラッシュアップやプロモーションの強化や、民間事業者の観光素材開発への支援・フォローアップにも取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 体験型観光素材開発事業	事業開始年度	H30	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 吉田 真悟
					者 電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922

事業の背景・目的

近年の消費トレンドは「モノ消費」から「コト消費」へ変化しており、旅行者のニーズも体験志向へと変化している。

こうした中、旅行会社からは、新たな体験やより深掘りした体験プログラムの提案を求められていることから、地域ごとの魅力あるテーマ・ストーリーに基づいた、石川ならではの新たな体験型観光素材の開発を推進し、地域の魅力の更なる磨き上げを図る。

事業の概要

市町・市町の観光協会(団体)に素材開発の専門家(旅行会社の社員等)を派遣し、観光素材の開発を支援する。

①支援対象:市町・観光団体(19市町・団体/年)

②開発する素材:地域ごとのテーマ・ストーリーに基づいて、体験をはじめ施設見学や食事等をパッケージ化した「旅を通じて物語性が体感できる」新たな体験型観光素材

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	評価	D			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	3,000	5,000	10,000	10,000	10,500
	決算	370	2,953	0	5,872	9,804
一般	予算	1,500	2,500	5,075	5,125	10,500
	決算	185	1,477	0	3,020	9,804
事業費累計		370	3,323	3,323	9,195	19,695

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度の県全体の観光入込客数は、令和3年度比で148.3%、コロナ前の令和元年度比でも73.3%まで回復してきている。こうした中、令和4年度は19市町(団体)に素材開発の専門家を派遣した結果、60件の観光素材を開発(発掘・磨き上げ)し、プロモーション会議での提案に至った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	縮小	引き続き、県内全市町における新たな体験型観光素材の開発促進に向け、19市町への専門家派遣を行い、観光素材の開発(発掘・磨き上げ)を支援する。 なお、専門家の派遣にあたっては、事業実績等を踏まえ、県外の専門家ではなく、現地情報に精通している県内在住の専門家を中心とするなど、費用効率化を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 個人旅行者向け旅行商品販売促進事業	事業開始年度	R4	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 木村 孔明
					者 電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3956

事業の背景・目的

北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげるとともに、魅力的な素材が蓄積されてきた。

こうした磨き上げた観光素材を旅行会社だけでなく、個人(フリー)客に対しても広げていくため、観光関連事業者向けセミナーの実施等により、個人旅行者に対する販路を拡大し、更なる誘客拡大につなげる。

- 事業の概要**
- ・観光関連事業者向けに体験予約サイトでの販促ノウハウを学ぶ研修会等の実施
 - ・体験予約サイト上での県内体験型素材の特集ページの製作・掲載
 - ・体験予約サイト上での利用者に対する割引クーポンの発行、配布

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	評価	D			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位：千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算					4,487
	決算					4,487
一般 財源	予算					4,487
	決算					4,487
事業費累計		0	0	0	0	4,487

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度の県全体の観光入込客数は、令和3年度比で148.3%、コロナ前の令和元年度比でも73.3%まで回復してきている。こうした中、県内観光関連事業者向けに、個人旅行者目線で売れる商品への磨き上げや、販売ノウハウなどを学ぶセミナーを開催(2回・39事業者参加)した結果、約8割が「満足」・「とても満足」との回答があり、「プロのアドバイスが大変参考になった」といった声があった。また、体験予約サイトと連携したプロモーションを行った結果、割引クーポンが早い段階で完売となり、想定を上回る結果となった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県内観光事業者の関心が高く、今後ますますインターネット予約が増加することが見込まれることから、個人旅行者向けの体験型旅行商品の販路拡大を図るため、着地型旅行商品の予約サイトを運営する事業者(OTA)とのマッチングを図る販売促進セミナーを開催する。また、合わせて、体験予約サイトと連携したプロモーションを行う。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀百万石回遊ルート誘客推進事業	事業開始年度 R2	事業終了予定年度 R4	作 組 織 観光企画課
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主事 中 邨 颯 汰	者 電話番号 076 - 225 - 1542 内線 3925

<事業の背景及び目的>

鼠多門・鼠多門橋や国立工芸館といった新たな魅力が誕生し、長町武家屋敷跡から尾山神社を経て、金沢城、兼六園、本多の森公園へと至る加賀百万石回遊ルートが形成され、人の流れも大きく変化した。引き続き、加賀百万石回遊ルートが金沢中心部における観光ルートとして利用され、より満足度を高めるために、回遊ルートのシンボルである金沢城の魅力創出とルートの回遊性の向上により、ルート全体の魅力アップと認知度向上・定着を図るための仕掛けを実施し、更なる観光誘客につなげる。

- <事業の概要>**
- (1) 年間を通じた魅力づくり
 - ① 金沢城公園等の夜間において光による特別演出イベントの開催
 - ② 金沢城公園を活用した昼のイベントの開催
 - (2) 受入れ体制の充実と回遊する仕掛けづくり
 - ① ルート上施設の共通入館券「SAMURAI PASSPORT(サムライパスポート)」の発行及び利用促進
 - ② 周辺商店街と連携し、SAMURAI PASSPORTの提示で受けられるおもてなし特典の実施
 - ③ スタンプラリーの実施
 - ④ SAMURAI PASSPORTのデジタル化・デジタルスタンプラリーの実施
 - (3) 情報発信
 - ① 加賀百万石回遊ルートのホームページの更新・追加
 - ② SNSフォトコンテストの実施

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算			30,000	24,000	26,500
	決算			24,499	24,000	24,500
一般	予算			15,000	12,000	13,250
	決算			12,250	12,000	12,250
事業費累計				0	24,499	48,499
				74,999		

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度の県全体の観光入込客数は、令和3年度比で148.3%、コロナ前の令和元年度比でも73.3%まで回復してきている。こうした中、SAMURAI PASSPORTやSNSフォトコンテストなど回遊ルートの魅力発信や認知度向上に係る事業のほか、昨年度好評だった五彩提灯回遊路を実施した結果、ルート全体の更なる賑わいの創出に繋がった。さらに、SAMURAI PASSPORTについて、従来の紙媒体での発行に加え、スマートフォンで利用できるようデジタル化を行い、利用者の更なる利便性向上を図った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	事業の主要部分であるSAMURAI PASSPORTについて、県民文化スポーツ部が新たに設ける「文化の森おでかけパス」に統合されることに伴い、本事業については廃止することとなった。今後は、様々な機会を通じて新パスポートを積極的にPRすることで、本県への更なる誘客に繋げたい。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主任主事 早川 友香
					者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3919

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

観光客の意見や要望を的確に把握し、より喜ばれる体制に改善するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

交 付 先 : (公社)石川県観光連盟

(1) アンケートハガキの作成、設置
設置先: 県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等

(2) 観光関係団体との情報共有
いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況							
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D	
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253	
事業費							
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算	1,900	1,900	1,900	1,800	1,800	
	決算	1,900	1,900	1,900	1,800	1,800	
一般	予算	1,900	1,900	1,900	1,800	1,800	
	決算	1,900	1,900	1,900	1,800	1,800	
事業費累計		8,900	10,800	12,700	14,500	16,300	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度の県全体の観光入込客数は、令和3年度比で148.3%、コロナ前の令和元年度比でも73.3%まで回復してきている。こうした中、これまでのお客様の声について、関係団体や事業者間で共有するとともに、改善を求める意見は対象施設に連絡し改善を促すといった取組を重ねてきた結果、令和4年度に寄せられた意見では「満足」、「やや満足」、の評価が91.1%と、昨年度(令和3年度:90.6%)から0.5%の増となった。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	引き続き、観光客の意見や要望を的確に把握し、関係団体や事業者等と連携して、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく予定。 なお、今年度からはWEB回答率の向上を目指すこととしており、観光パンフレットにアンケート回答用のQRコードを掲載するなどの工夫を講じていく。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ウェルカムいしかわ推進事業	事業開始年度 H22	事業終了予定年度	作 組 織 観光企画課
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名 主任主事 早川 友香 者 電話番号 076 - 225 - 1127 内線 3919

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

観光事業者向け、一般県民向けの「おもてなし講座」を開催

交付先 : (公社)石川県観光連盟

スキルアップを図りたい観光事業者やおもてなしについて学びたい一般県民向けにおもてなしに関する講習会を開催する。(テーマに応じて講師を派遣)

対 象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、研修会等

内 容: 私たちにもできるおもてなし、おもてなしとは何かなど

講師例: ほっと石川観光マイスターなど

施策・課題の状況							
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大				評価	D	
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上						
	指標					単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253	
事業費							
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算	320	250	200	200	200	
	決算	100	250	55	55	140	
一般	予算	320	250	200	200	200	
	決算	100	250	55	55	140	
財源	決算	100	250	55	55	140	
事業費累計		25,460	25,710	25,765	25,820	26,020	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	これまで、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとする「おもてなし講座」等を開催し、延べ14,491人が受講している。(R4年度:5回・90人/R3年度:14回・394人) R4年度に観光客から寄せられたご意見も、「満足」、「やや満足」の評価が9割を超えており、おもてなしの維持・向上につながった。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民のおもてなしの向上を図り、観光地石川のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、引き続き、団体や企業へのおもてなし講座の周知を行い、制度の利用を促す。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	主任主事 山下 睦貴		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1126 内線 3915

事業の背景・目的
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

事業の概要
 1 貸付額 118,100千円
 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
 ○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり
 <能登>
 能登ふるさと博の通年開催
 (里山里海等の体験型イベント開催、能登を満喫するデジタルスタンプラリーなど)
 <加賀>
 広域周遊促進イベントや加賀デジタルスタンプラリーの実施
 <金沢>
 金沢での音楽をテーマとしたイベントの開催など

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大	評価	D			
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	110,650	127,650	118,650	115,300	118,100
	決算	110,650	127,650	118,650	115,300	118,100
一般	予算	0	0	0	0	0
財源	決算	0	0	0	0	0
事業費累計		351,800	479,450	598,100	713,400	831,500
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度の県全体の観光入込客数は、令和3年度比で148.3%、コロナ前の令和元年度比でも73.3%まで回復してきており、能登・加賀・金沢それぞれの観光入込客数も同様の傾向となっている。こうした中、各地域への誘客促進を図るため、様々な誘客イベント・キャンペーンを実施した結果、令和3年度同様、多くの方にご参加いただき、一定の効果があつた。 プロモーション会議では、旅行会社からの助言により、複数の素材が旅行商品化につながった。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き県内全域への誘客促進を図るため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進など、(公社)石川県観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀温泉旅館等誘客促進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	主事 板谷 春菜		
者	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3927			

<事業の背景及び目的>

東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと、加賀温泉郷・粟津温泉・辰口温泉・白山温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード通行料の優待企画を実施する。

<事業の概要>

白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(18,000千円)

- (1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(15,500千円)
 - ①対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人
 ※R3は石川県民限定としたが、R4は例年通り全国対象とする
 ※白山温泉郷の中宮温泉のみ、8月27日より日帰り利用者も対象
 (8月4日の豪雨被害の影響で宿泊営業が困難になったため)
 - ②協賛宿泊施設 72施設(粟津温泉2、片山津温泉8、山代温泉16、山中温泉16、辰口温泉3、白山温泉郷27)
 - ③実施期間 令和4年6月10日～11月10日(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)
 ※ホワイトロード有料区間：6/10～石川県側のみ開通、6/17～全線開通
 - ④料金体系(片道) 普通車1,700円、軽自動車1,400円、マイクロバス5,000円、大型バス11,000円

- (2) 広報宣伝の実施(2,500千円)
 - ・チラシ・ポスターの作成
 - ・県観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」
 - ・白山白川郷ホワイトロードホームページ
 - ・JAF会員、NEXCO中日本ホームページ
 - ・情報誌への掲載

施策・課題の状況						
施策	観光客の満足度向上による石川ファンの拡大			評価	D	
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	決算	7,670	8,164	0	250	1,723
一般	予算	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	決算	7,670	8,164	0	250	1,723
事業費累計		234,966	243,130	243,130	243,380	261,380

評価																						
項目	評価	左記の評価の理由																				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	8月の豪雨災害により石川県側からの出入りができなくなったことで、利用台数は大きく減少したものの、利用客から「このキャンペーンがなければ通らなかった」「来年も続けてほしい」「このキャンペーンがあればまた来たい」という声があるなど宿泊者の確保に一定の効果があった。																				
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>開通期間(一部・全線)</td> <td>111日間</td> <td>145日間</td> <td>157日間</td> </tr> <tr> <td>利用台数</td> <td>47,154台</td> <td>42,194台</td> <td>18,358台</td> </tr> <tr> <td>日平均台数</td> <td>424台</td> <td>291台</td> <td>116台</td> </tr> <tr> <td>片道無料キャンペーン</td> <td>3,069台</td> <td>203台</td> <td>681台</td> </tr> </table> ※R2は石川県側通年通行止めのため未実施。 R3は県民限定。		R1	R3	R4	開通期間(一部・全線)	111日間	145日間	157日間	利用台数	47,154台	42,194台	18,358台	日平均台数	424台	291台	116台	片道無料キャンペーン	3,069台	203台
	R1	R3	R4																			
開通期間(一部・全線)	111日間	145日間	157日間																			
利用台数	47,154台	42,194台	18,358台																			
日平均台数	424台	291台	116台																			
片道無料キャンペーン	3,069台	203台	681台																			
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	ホワイトロードを活用した加賀・白山エリアの誘客、さらには加賀地域の温泉旅館の宿泊者を確保していくため、インターネットや情報誌などで更なる周知やキャンペーンを活用した誘客に取り組む。																				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 次代を担う石川の観光人材育成事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	氏名	主任主事 南 和宏		
者	電話番号	76 - 225 - 1127 内線 3957			

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線の金沢開業に伴う観光入り込み客の拡大や外国人旅行者の増加、ICTの発達による旅行者の趣味嗜好の多様化など、本県観光をとりまく環境が大きく変化している。

こうした中、これからの石川の観光がさらに飛躍、発展するためには、既存の観光産業の枠にとらわれず、様々な業種の方々が分野を超えて新しいビジネスの創造にチャレンジするとともに、常に魅力あるサービス(価値)を提供していくことが求められている。

「いしかわ観光創造塾」では、受講生同士が将来のビジョンを共有し、ともに学ぶことで、企画・実行力を備えた次代のリーダーを育成する。

<事業の概要>

「いしかわ観光創造塾」の開催

- ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象として、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、本県観光の飛躍・発展に貢献できる人材を育成する。

期間:令和4年4月～令和4年11月
 講座:14回
 内容:リーダーに求められる、マーケティングやマネジメント、ファイナンス等の能力について、一方的な講義ではなく、グループワークを基本とした主体的に学ぶ形式を採用し、かつ取扱う内容についても具体的な事例(ケースメソッド)を取り入れることで、実践的な課題解決手法を学ぶ。
 交付先:(公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	観光振興を担う人材の育成・充実				評価	D
課題	観光振興を担う人材の育成					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算	2,100	1,700	1,600	1,600	1,600
	決算	2,100	1,700	1,300	1,300	1,440
一般	予算	2,100	1,700	1,600	1,600	1,600
	決算	2,100	1,700	1,300	1,300	1,440
財源	決算	2,100	1,700	1,300	1,300	1,440
事業費累計	6,527	8,227	9,527	10,827	12,427	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和4年度は分野を超えたネットワークの構築による、新たなビジネスの創出や、魅力あるサービスの提供などの企画・実行力を習得した15名が修了した。また、これまでの修了生からは、地域交流拠点の創出や、新たな旅行ニーズに対応したこれまでに無い旅行商品の開発、組合を設立し地域商品のPR活動を行うなど、企業の中核人材や経営者として活躍する人材を多く輩出している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	新たに文化観光にかかる講義を追加することとし、「文化」と「観光」を組み合わせた新たなビジネスを企画・実施できる人材や、文化の担い手や観光事業者を橋渡しする人材など文化観光推進人材の育成の充実を図ることとした。 引き続き、(公社)石川県観光連盟や関係団体と連携・協力して、本県観光の将来を担う人材の育成に取り組む。